

令和3年度 港湾貨物運送事業労働災害防止協会 大阪総支部

全国安全週間行事の実施にあたって

令和3年7月1日  
大阪労働局労働基準部  
安全課長 堀 幸男

皆様方には、日頃から労働行政の推進、とりわけ港湾運送事業における労働災害の防止、労働者の健康確保対策の推進に格別の御尽力を賜り、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年の大阪府内の全産業の労働災害の発生状況は、死亡者数は48人となり、令和元年と比べて5人減少しました。

港湾運送事業における死亡災害につきましては、平成30年以降大阪府内において発生しておりません。

しかし、休業4日以上の死傷災害につきましては、令和2年は36人と、前年の28人と比べて28.6%増加しています。

今年度も、7月1日から全国安全週間がスタートいたしました。

今年度のスローガンは、

『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』

です。

労働災害を減少させるためには、働く高年齢者の増加等の就業構造の変化や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢の変化等に対応し、将来を見据えた持続可能な安全管理を実施していただくことが重要です。

港湾貨物運送事業労働災害防止協会大阪総支部におかれましては、「全国安全週間」及び「港湾労働安全強調期間」にあわせた労働災害防止啓発活動として、毎年実施されている「安全パレード」が、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き、今年度も開催中止となりましたことは、誠に残念なことでございます。しかし、これに替わりまして、船内作業員に対し通船からのマイク呼びかけによる安全啓発、また、沿岸作業員に対するパンフレット等の配布による啓発活動と、コロナ禍においても状況に合わせた災害防止活動に取り組まれていることに感謝申し上げます。

引き続き皆様方の積極的な労働災害防止に対する取組にご期待申し上げます。

また、これからの時期、熱中症予防も重要です。大阪府内での昨年の熱中症による死亡者数は1人で、休業4日以上之死傷者数は49人と記録的な猛暑の一昨年より減少したものの過去10年間で3番目の発生件数となりました。

5月1日から9月30日までを「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」として死亡者ゼロを目指し取り組んでいます。

WBGT値を確認し、チェックリストによる作業管理を行うとともに、異常を認めたときはすぐに救急車を呼ぶなどの「異常時の措置」を確保し、コロナ禍におけるマスク着用下での熱中症予防対策を実施していただきますようお願いいたします。

さらに、昨年からは「新しい生活様式」に即した形での安全衛生の周知啓発活動として、大阪労働局YouTubeチャンネルを開設し、「全国安全週間 大阪労働局長メッセージ」などの安全衛生関連動画の配信等による周知啓発活動の充実を図っております。

事業場での周知啓発活動に御活用をお願いいたします。

「全国安全週間」及び「港湾労働安全強調期間」を機に、貴協会の傘下事業場が、各職場において労働災害防止の重要性を改めて御確認いただき、安心して働ける職場環境づくりに向け、更に前進されることを期待する次第であります。

最後になりましたが、貴協会及び傘下事業場の益々の御発展と御健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶といたします。